

専門家の意見収集の概要

1. 意見収集の目的

平成 24 年度までの解析結果及び第 1 回検討会の検討結果（区域線（原案））をもとに、専門家等による意見収集を行った。これは、平成 24 年度までの解析結果は主として生物情報や環境情報などのうち、おおむね全国悉皆的に入手可能なデータを用いて導かれた結果であるため、①海域や分類群によっては情報の偏りや不足がある。また、こうしたデータだけから②当該海域の生態学的・生物学的な特徴やまとまりを実態に沿ってとらえることは困難である、などの課題に対応するものであり、また生物多様性条約（CBD）における EBSA の特定においても、データなどの解析結果に加えてエキスパート・オピニオンを活用することを強く推奨している（UNEP/CBD/SBSTTA/16/INF/9）ことから行ったものである。

これにより情報の偏りや不足の補完、最新情報の追加、重要海域の区域線を生態学的・生物学的な特徴やまとまりをとらえて作成することが可能であると考えられた。

2. 意見収集の方法

専門家から意見を収集するため主に以下の 2 つの方法を用いた。

（1） ウェブページによる意見収集（学会などに協力を依頼）

海洋の環境や生物・生態系に関する専門家の集団である学会（又は学会関連部会）に対して意見提出の依頼を行った。具体的には、学会宛に、メーリングリストなどの手段を通じた学会員や学会内にある関連部会等への意見提出の呼びかけを依頼した。

情報の発信源としては、「重要海域の抽出に関する専門家の意見収集」のウェブページを新たに開設し、ここにアクセスして、自由に閲覧などができるように配慮した。以下が依頼を行った学会の一覧とウェブページの概要である。

○依頼を行った学会の一覧

- ・ 日本海洋学会
- ・ 日本水産学会
- ・ 日本生態学会
- ・ 日本魚類学会
- ・ 日本ベントス学会
- ・ 日本プランクトン学会
- ・ 日本甲殻類学会

○「重要海域の抽出に関する専門家の意見収集」のウェブページ（詳細は参考資料5）

URL アドレス：http://marine2013.jwrc.or.jp

期間：平成25年11月1日～11月30日までの1ヶ月間



○上記 URL からのダウンロード回数

沿岸図（各図）のダウンロード回数：2,627回

沖合表層図のダウンロード回数：347回

沖合海底図のダウンロード回数：317回

（2）個別ヒアリング

上述の学会を通じた意見収集の周知と意見提出の呼びかけと同時に、各分類群における専門家に直接面談によるヒアリング（簡易な説明も含む）を行って意見提出を依頼した。ヒアリングを行った期間は平成25年11月5日～11月27日であり、対象者は33名である。また、この他に桜井委員（11月11日）、向井委員（11月19日）、中田委員（11月21日）へのヒアリングを行った。

3. 意見収集の結果（概要）

上述2.（1）のウェブページによる意見収集で22名、上述2.（2）の個別ヒアリングにより専門家20名・委員3名、合計して45名の専門家から回答があった。回答は、区域線（原案）の修正に関するものが大半であったが、重要海域や抽出手法などの全体に関する意見、沿岸域の個別の区域線に関する具体的な意見及び区域線の修正ではないが、種や生態系の分布情報などに関する意見（情報提供）などが含まれた。回答数（注）は合計682件（うち沿岸図に関する回答657件、沖合表層図に関する回答4件、沖合海底図に関する回答14件、全体に関する回答7件）であった。

これらの意見の詳しい一覧、図の修正結果については資料3に掲載した。

（注）1つの回答が複数の区域にまたがる場合、区域ごとに1件として数えている。